

大和郡山市バリアフリー特定事業計画



大和郡山市バリアフリー特定事業計画

発行日 平成 25 年 3 月

発行 大和郡山市

〒639-1198 奈良県大和郡山市北郡山町 248 番地 4

TEL 0743-53-1151(代表) FAX 0743-53-1049

ホームページ <http://www.city.yamatokoriyama.nara.jp/>

大和郡山市

特定事業計画の位置づけ

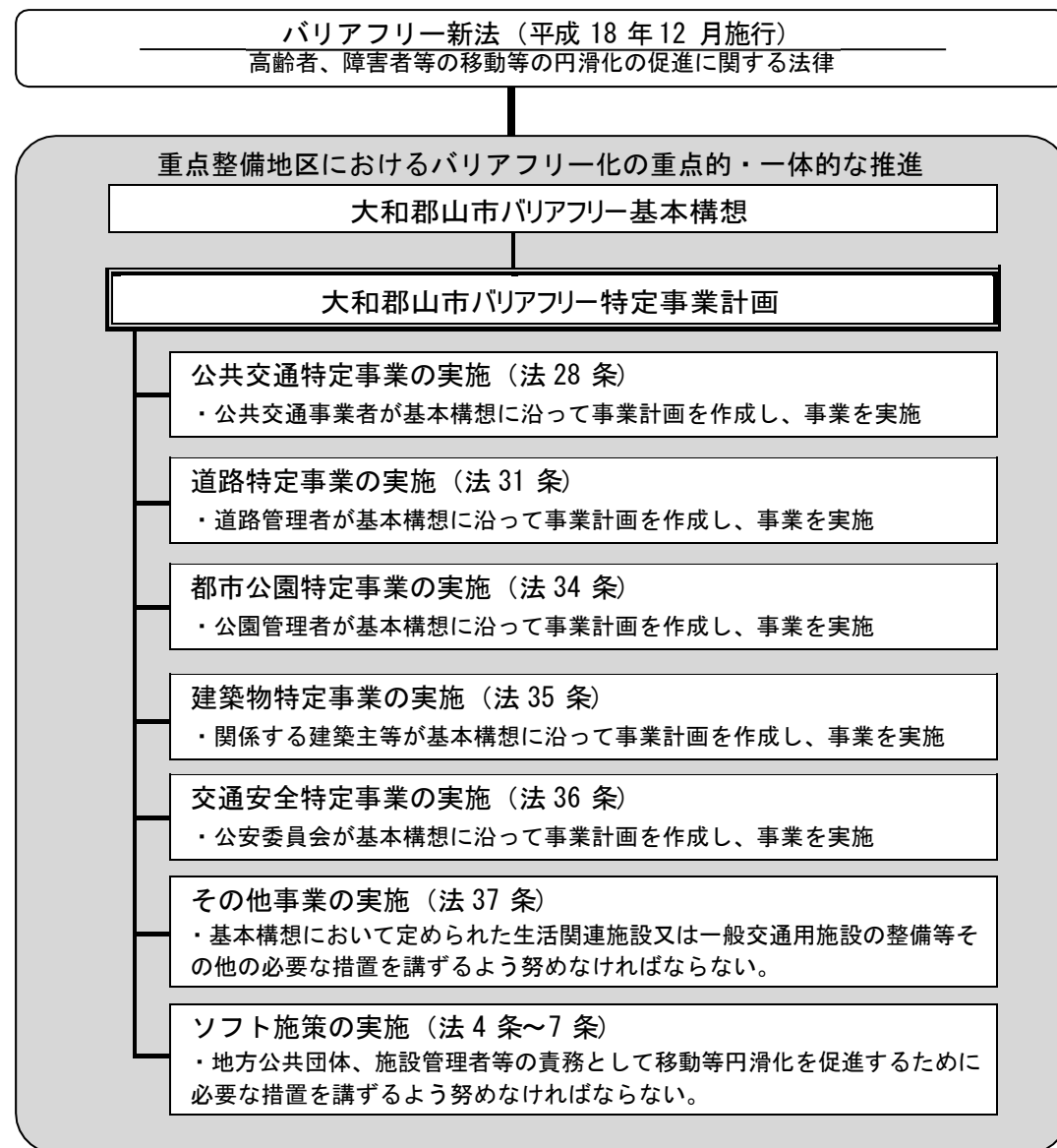
大和郡山市では、平成 23 年度に「大和郡山市バリアフリー基本構想（JR・近鉄郡山駅周辺移動等円滑化基本構想）」を策定した。この基本構想では、JR・近鉄郡山駅周辺を重点整備地区として設定し、鉄道駅を中心とした面的なバリアフリー化を図るため、当該地区内の生活関連施設及び生活関連経路を対象に、移動等円滑化のために実施すべき特定事業等を定めている。

本特定事業計画は、基本構想に定められた特定事業の推進を図るため、実施する事業の内容や予定期間等を示すものであり、本計画に基づいて各事業者が特定事業を推進していくものである。

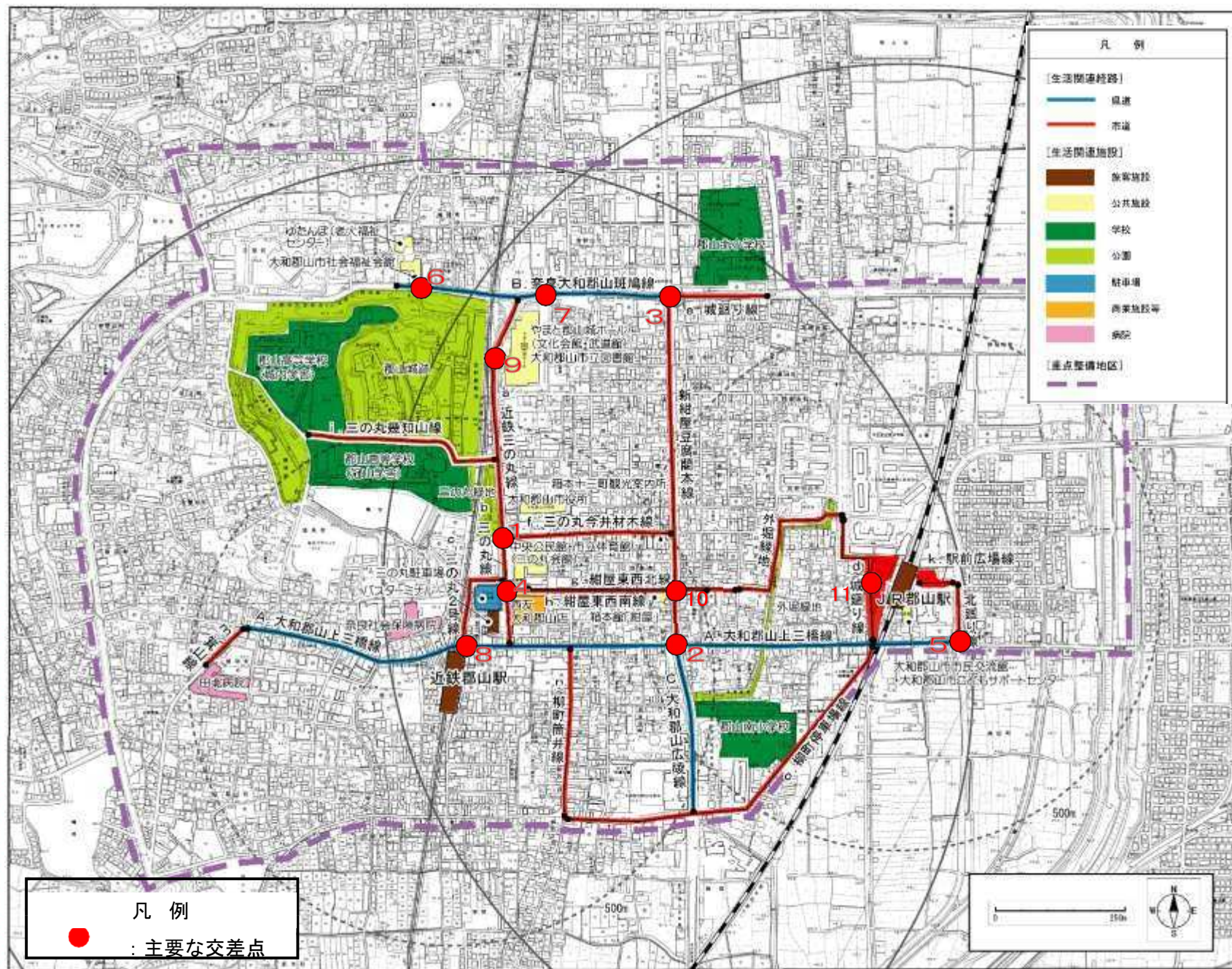
大和郡山市バリアフリー特定事業計画
目次

- 重点整備地区の範囲・生活関連経路等 1
- 公共交通特定事業等 2
- 道路特定事業等 5
- 交通安全特定事業等 9
- 建築物特定事業等 10
- 都市公園特定事業等 14
- その他事業 15
- ソフト施策 16
- 参考資料：検討経緯・委員名簿 18

【重点整備地区におけるバリアフリー化推進の基本的枠組み】



重点整備地区の範囲・生活関連経路等



【路線名称】

整理番号	管理者 (事業者)	路線名称	区間
A	県	大和郡山上三橋線	北廻り線－箕山線
B	県	奈良大和郡山斑鳩線	新紺屋豆腐藪本線－社会福祉会館
C	県	大和郡山広陵線	大和郡山上三橋線－柳町停車場線
a	市	近鉄三の丸線	三の丸線－奈良大和郡山斑鳩線
b	市	三の丸線	大和郡山上三橋線－近鉄三の丸線
c	市	三の丸2号線	大和郡山上三橋線－近鉄三の丸線
d	市	城廻り線	外堀緑地北門－大和郡山上三橋線
e	市	城廻り線	郡山北小学校東－新紺屋豆腐藪本線
f	市	三の丸今井材木線	新紺屋豆腐藪本線－近鉄三の丸線
g	市	紺屋東西北線	外堀緑地－近鉄三の丸線
h	市	紺屋東西南線	外堀緑地－近鉄三の丸線
i	市	三の丸幾知山線	近鉄三の丸線－郡山高等学校
j	市	新紺屋豆腐藪本線	大和郡山上三橋線－奈良大和郡山斑鳩線
k	市	駅前広場線	北廻り線－JR 郡山駅
l	市	北廻り線	大和郡山上三橋線－駅前広場線
m	市	箕山線	大和郡山上三橋線－田北病院
n	市	柳町筒井線	大和郡山上三橋線－柳町停車場線
o	市	柳町停車場線	大和郡山上三橋線－柳町筒井線

【交差点名】

整理番号	管理者 (事業者)	交差点名
1	公安 委員会	市役所前
2		新紺屋町交差点
3		北郡山交差点
4		西友西側
5		JR 郡山駅東側
6		社会福祉会館前
7		城木一ル北側
8		近鉄郡山駅周辺
9		城木一ル西横断歩道
10		箱本館西横断歩道
11		JR 郡山駅西横断歩道

【生活関連経路および主要交差点位置図】

■ 公共交通特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設 (旅客施設 又は車両)	事業者名	現状課題	整備方針(整備項目)	事業内容 (●:特定事業、○:その他 事業又はソフト事業)	延長・ 箇所数	事業の実施計画(年度)								事業主体		実施状況	配慮 事項	図面等添付の有無				
						23	24	25	26	27	28	~	公 共 交 通 事 業 者	其 他 の 事 業 者	概 略 平 面 図 等			其 他 関 連 図	必 要 な 資 金 額 お よ び そ の 調 達 方 法	意 見 其 他		
JR郡山駅	西日本旅客鉄道(株)	■ 音声情報だけでなく、聴覚障害者に配慮した文字情報の案内を充実してほしい。	・案内情報のわかりやすさ	○音声案内や文字による運行情報の充実	—									○		○既存設置の発車表において大幅な輸送障害など文字情報の提供。	—	—	—	—	—	
		■ 聴覚障害者は事故などの非常時の情報が入手しにくい。	・案内情報のわかりやすさ	○非常時の連絡手段の確保(事故発生時・災害時・エレベーター緊急停止時等)	—									○		○既存エレベーター内のインジケーターに文字表示情報を表示済み。	—	—	—	—	—	
		■ 視覚障害者はホームから転落の危険がある。	・ホームの安全性確保	●内方線付点状ブロックの設置	2 ホーム										○		内方線付点状ブロック整備予定。	—	○	—	国庫補助金 地方自治体補助金	—
		■ エレベーターが設置されたため、電光表示板が見えにくい場所がある。	・ホームの安全性確保	○電光表示板の新設	—										○		現状各ホーム上に1箇所設置済み。現在増設の予定はなし。	—	—	—	—	—
		■ 大人のオムツも換えられるような多目的シートを設置してほしい。	・トイレの改良	○多機能トイレに多目的シートを設置	1箇所										○		現状のトイレスペースでは広さの確保が出来ない。駅機能の全体見直し、改修が必要であり未定。	—	—	—	—	—

※事業実施については、バリアフリー法に基づく国、県、市との協議及び調整に関する助成が前提となる。
 ※一定の視覚的な情報を現在行っており、今後の状況により、駅をご利用いただくお客様の安全と利便性の向上に努める。

■ 公共交通特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設 (旅客施設 又は車両)	事業者名	現状課題	整備方針 (整備項目)	事業内容 (●：特定事業、○：その他事業又はソフト事業)	延長・ 箇所数	事業の実施計画 (年度)								事業主体		実施状況	配慮事項	図面等添付の有無					
						23	24	25	26	27	28	～	公共交通事業者	その他の事業者	概略平面図等			その他関連図	必要な資金額およびその調達方法	意見その他			
近鉄郡山駅	近畿日本鉄道(株)	■ 音声情報だけでなく、聴覚障害者に配慮した文字情報の案内を充実してほしい。	■ 案内情報のわかりやすさ	○ 音声案内や文字による運行情報の充実	2箇所									→	近畿日本鉄道	—	技術的には可能だが、整備には長期検討が必要。		—	—		—	
		■ 聴覚障害者は事故などの非常時の情報が入手しにくい。	■ 案内情報のわかりやすさ	○ 非常時の連絡手段の確保 (事故発生時・災害時等)	2箇所										→	近畿日本鉄道	—	技術的には可能だが、整備には長期検討が必要。		—	—		—
		■ 視覚障害者はホームから転落の危険がある。	■ ホームの安全性確保	● 内方線付点状ブロックの設置	2線			→								近畿日本鉄道	—	—		○	—	国(1/3)、地方自治体(1/3)からの事業費補助金及び事業者負担	—
		■ 大人のオムツも換えられるような多目的シートを設置してほしい。	■ トイレの改良	○ 多機能トイレに多目的シートを設置	1箇所										→	近畿日本鉄道	—	現在のトイレはガイドラインに適合しており整備済。今後、ガイドラインの改定等をふまえる必要に応じて設置を検討。		—	—		—
		■ トイレが片側のホームにしかないのので、両方のホームにほしい。 ■ 反対側のホームにいてもトイレが利用しやすいようにトイレの位置をかえてほしい。	■ トイレの改良	○ 利用しやすい位置にトイレの移設	1箇所										→	近畿日本鉄道	—	トイレは1駅1箇所が原則。駅舎の大規模改装時に利用しやすい位置へのトイレの設置を検討。		—	—		—
		■ スロープが一つしかないのので、階段を改良してほしい。	■ 移動経路の円滑化	○ 東側改札付近の階段の改善	1箇所										→	近畿日本鉄道	—	駅舎周辺の面的な開発等の状況をふまえる必要に応じて改善を検討。		—	—		—
		■ 以前設置してあった誘導ブロックがなくなったので、視覚障害者のために何らかの誘導対策をしてほしい。	■ 移動経路の円滑化	○ 下りホームスロープの視覚障害者誘導方策の検討	1箇所			→								近畿日本鉄道	—	ガイドラインには適合しており整備済。	視覚障害者の意見を反映する。	○	—	地方自治体(1/3)からの事業費補助金及び事業者負担	—

■ 公共交通特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設 (旅客施設 又は車両)	事業者名	現状課題	整備方針(整備項目)	事業内容 (●:特定事業、○:その他 事業又はソフト事業)	延長・ 箇所 数	事業の実施計画(年度)								事業主体		実施状況	配慮 事項	図面等添付の有無			
						23	24	25	26	27	28	～	公 共 交 通 事 業 者	其 他 事 業 者	概 略 平 面 図 等			其 他 関 連 図	必 要 な 資 金 額 お よ び 其 の 調 達 方 法	意 見 其 他	
バス	奈良交通(株)	<ul style="list-style-type: none"> ■ バスのステップを低くしてほしい。 ■ ステップの高いバスがあり乗りにくい。 ■ バスの車内でも電光掲示板を設置して文字情報を提供してほしい。 	車両	●ノンステップバスの導入									○		23年度、市内運行車両 35両中 4両がノンステップ車両。 24年度 5両、25年度 5両を導入予定。以後は未定。	—	—	車両代替にともない導入率が向上。現時点では、全社で年間 30両を代替している。	—		
				●車内への電光掲示板の設置								○		23年度、市内運行車両 35両中 4両がノンステップ車両。 24年度 5両、25年度 5両を導入予定。以後は未定。	—	—	車両代替にともない導入率が向上。現時点では、全社で年間 30両を代替している。	—			
		<ul style="list-style-type: none"> ■ ノンステップバスがいつ来るのかわからない。 ■ わかりやすい案内(路線図・時刻表・料金表)にしてほしい。 ■ バスロケーションシステムを導入してほしい。 	案内・情報提供	○ノンステップバス運行情報の提供									○		ノンステップ車両の導入状況に併せて実施する。	—	—		—		
				○わかりやすい時刻表や路線図の検討										○		現在、全社的に時刻表レイアウト等を見直し中。	—	—		—	
タクシー	タクシー事業者	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乗務員のマナーやサービスの向上、バリアフリーに配慮した車両の導入等 	車両	●福祉タクシーの導入									○		介護顧客の増で車両の導入を検討。	—	—		—		
				○観光客の利用もふまえた福祉タクシーの利用促進										○		ヘルパー乗務員に観光研修の実施。	—	—		—	

■ 道路特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

路線名	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）							事業主体			実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無				
						23	24	25	26	27	28	中期 29-33	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者			概略平 面図等	その他 関連図	補助 事業等	事業費 （千円）	意見 その他
大和郡山上三橋線		<ul style="list-style-type: none"> ■ 幅が狭く、自動車、自転車、歩行者が混在し、危険で歩くことができない。 ■ 溝があるので、車をよける時にこわい。蓋をつけてほしい。 ■ 柵をつける等で歩行空間を確保してほしい。 ■ 視覚障害者が電柱等に衝突しないように配慮してほしい。 	歩行空間の改善	● 側溝蓋の設置	1,400m	→							県			実施中		—	—	補助	—	—
			歩行空間の改善	● 路側帯の改良	1,400m	→							県			実施中		—	—	補助	—	—
			歩行空間の確保	● 支障物件の移設・安全対策（柱）	—	→							県		○	未	占用業者との調整	—	—	—	—	—
			踏切の改善	○ 安全な歩行空間の確保方を継続的に実施	—	→							県	○	○	未		—	—	—	—	—
奈良大和郡山斑鳩線	奈良県	<ul style="list-style-type: none"> ■ 坂道なので自転車がこわい。（南側歩道） ■ 雨の日に緑色の舗装が滑りやすい。（南側歩道） ■ 北側の歩道が狭い。グレーチングが歩きにくい。 ■ 踏切があり自動車が渋滞することが多い。 	歩道の改善	● 都市計画道路整備を見据えた歩道の改善（老朽箇所の修繕・グレーチングの見直し等）	550m	-----→							県			未	老朽、危険箇所の修繕	○	○	—	—	—
				○ 都市計画道路整備の推進（都市計画道路城廻り線の整備による安全な歩行空間の確保）	550m	→							県	○	○	実施中	踏切の管理者である「近畿日本鉄道（株）」との調整	○	○	補助	—	—
大和郡山広陵線		<ul style="list-style-type: none"> ■ 整備されてよくなったが、視覚障害者は車止め用のポールにぶつかってしまう。 ■ スピードを出して走行する自転車がこわい。 	歩道の改善	● 歩道の改善	350m	→							県			未		—	—	—	—	—
				● 視覚障害者誘導用ブロックの設置・改善	350m	→							県			未		—	—	—	—	—

■ 道路特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

路線名	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）							事業主体			実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無							
						23	24	25	26	27	28	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者			概略平 面図等	その他 関連図	補助 事業等	事業費 (千円)	意見 その他			
近鉄三の丸線	大和郡山市	■ 歩道がガタガタしている。 ■ 歩道と車道との段差が高い。 ■ 幅員が狭い区間がある。 ■ 視覚障害者誘導用ブロックが老朽化している。	歩道の改善	（市道a） ● 段差の解消（歩道と車道乗り入れ部や横断歩道との段差の解消）	500m							→		市				—	—	—	—	—			
					500m							→		市				—	—	—	—	—			
												→		市				—	—	—	—	—			
					500m							→		市				—	—	—	—	—			
					500m							→		市				—	—	—	—	—			
三の丸線		■ 西友から南側の区間が、段差やデコボコが多い。 ■ 西友北側の横断歩道が、東側によっているため、視覚障害者は位置を見失ってしまう。	歩道の改善	（市道b） ● 段差の解消（歩道と車道乗り入れ部や横断歩道との段差の解消）	200m										市				—	—	—	—	—		
					200m												市				—	—	—	—	—
																	市				—	—	—	—	—
					200m												市				—	—	—	—	—
					200m												市				—	—	—	—	—
三の丸2号線	■ 歩道が波打っている。 ■ 歩道の幅員が狭い区間がある。	歩道の改善	（市道c） ● 段差の解消（歩道と車道乗り入れ部や横断歩道との段差の解消）	190m										市				有効幅員の確保については道路構造の抜本的な改良及び沿道施設との調整が必要							
				190m												市				—	—	—	—	—	
				190m												市				—	—	—	—	—	
				190m												市				—	—	—	—	—	
城廻り線	■ 視覚障害者が車止めに衝突してしまう。 ■ 舗装の凹凸が多い。 ■ 歩道と車道との段差が高い。 ■ 視覚障害者誘導用ブロックがない。	歩道の改善	（市道d） ● 段差の解消（歩道と車道乗り入れ部や横断歩道との段差の解消）	300m										市				—	—	—	—	—			
				300m												市				—	—	—	—	—	
				300m												市				—	—	—	—	—	
				300m												市				—	—	—	—	—	

■ 道路特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

路線名	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）											事業主体			実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無					
						23	24	25	26	27	28	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	概略平 面図等	その他 関連図	補助 事業等	事業費 （千円）			意見 その他					
城廻り線		■ 段差や路面の凹凸がある。 ■ 視覚障害者誘導用ブロックがない区間や老朽化した区間がある。	歩道の改善	（市道e） ● 段差の解消（歩道と車道乗り入れ部や横断歩道との段差の解消） ● 舗装等の改良（路面のデコボコの改良） ● 視覚障害者誘導用ブロックの設置・改善（老朽箇所の修繕や連続した敷設）	190m										→	市				—	—	—	—	—			
					190m													→	市				—	—	—	—	—
					190m													→	市				—	—	—	—	—
三の丸今井材木線	大和郡山市	■ 市役所前の歩道が狭い。 ■ 市役所から駅方面への連続性がよくない。	移動等円滑化の向上	（市道f） ● 市役所への移動等円滑化の検討（舗装等の改良、段差の解消、有効幅員の確保、視覚障害者誘導用ブロックの整備・改良等による市役所への移動ルート円滑化）	300m										市	○		道路構造の抜本的な改良となるため、調整が必要	—	—	—	—	—				
紺屋東西北線	大和郡山市	■ 視覚障害者は転落の危険がある。 ■ 夜間が危険である。 ■ 車がたくさん通って危ない。	歩行空間の確保	（市道g） ○ 転落防止策の検討（周辺の景観等に調和した、移動弱者や夜間の転落防止策を検討） ○ 歩行空間の確保の検討（歴史や景観に配慮した歩行空間の確保方策を検討）	450m											市			沿道住民の生活道路としての利便性の配慮が必要である。	—	—	—	—	—			
450m																	市				—	—	—	—	—		
400m																		市				—	—	—	—	—	
400m																		市				—	—	—	—	—	
紺屋東西南線				（市道h） ○ 転落防止策の検討（周辺の景観等に調和した、移動弱者や夜間の転落防止策を検討） ○ 歩行空間の確保の検討（歴史や景観に配慮した歩行空間の確保方策を検討）	400m										市				—	—	—	—	—				

※紺屋東西北及び南線

- ①夜間の通行の安全を図るため現在の防犯灯を照度の高い街路灯に取替える。
- ②景観に配慮した車両の速度抑制手法として石張り舗装やカラー舗装を実施する。

■ 道路特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

路線名	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）											事業主体			実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無						
						23	24	25	26	27	28	～	道路 管理者	公安 委員会	その他 事業者	概略平 面図等	その他 関連図	補助 事業等	事業費 (千円)			意見 その他						
三の丸幾知山線	大和郡山市	■ 福祉車両は車高が低いため、通過時に底をすってしまう。 ■ 車いすでは横断するのが危険。	踏切の改善	● 踏切の改善方策の検討（九条第10号踏切）	1箇所												市						—	—	—	—	—	
			歩行空間の確保	○ 歩行空間の確保の検討（城跡公園の整備計画と連携した歩行空間の確保方策を検討）	400m														市						—	—	—	—
新紺屋豆腐蘭本線		歩道の改善	● 視覚障害者誘導用ブロックの設置・改善（老朽箇所の修繕）	650m														市						—	—	—	—	—
			● 支障物件の改善（バリアフリーに配慮した車止めの改善）	650m															市						—	—	—	—
駅前広場線		大和郡山市	■ 視覚障害者誘導用ブロックがない区間や老朽化した区間がある。	歩道の改善	● 視覚障害者誘導用ブロックの設置・改善（老朽箇所の修繕）	80m												市						—	—	—	—	—
北廻り線							歩道の改善	● 視覚障害者誘導用ブロックの設置・改善（老朽箇所の修繕）	130m													市						—
		箕山線	歩道の改善	● 有効幅員の確保（有効幅員の確保による連続した歩行空間の形成）	130m																市						—	—
柳町筒井線						歩行空間の確保	○ 歩行空間の確保の検討（地元や関係者との協議のうえ交通規制も含めた歩行空間確保）	300m													市						—	—
	柳町停車場線	歩行空間の確保	○ 歩行空間の確保の検討（地元や関係者との協議のうえ交通規制も含めた歩行空間確保）	750m																市						—	—	—

■ 交通安全特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

交差点名	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他事業又はソフト事業）	延長・箇所数	事業の実実施計画（年度）							事業主体			実施状況	配慮事項	図面等添付の有無					
						23	24	25	26	27	28	～	道路管理者	公安委員会	その他事業者			概略平面図等	その他関連図	補助事業等	事業費（千円）	意見その他	
交差点：1 【市役所前】	公安委員会	■ 市役所東側の信号の青信号を延長してほしい。	青信号延長（押しボタン）の設置	● 高齢者等感応化機能の整備（青時間延長押しボタン）	1箇所										○			—	—	—	—	—	
交差点：2 【新紺屋町交差点】		■ 新紺屋町交差点を音響信号にしてほしい。	音響信号の設置	● 視覚障害者付加機能の整備（音響式信号機）	1箇所	→										○		設置済	—	—	—	—	—
交差点：3 【北郡山交差点】		青信号延長（押しボタン）の設置	● 高齢者等感応化機能の整備（青時間延長押しボタン）	1箇所												○			—	—	—	—	—
		音響信号の設置	● 視覚障害者付加機能の整備（音響式信号機）	1箇所												○			—	—	—	—	—
		青信号延長（押しボタン）の設置	● 高齢者等感応化機能の整備（青時間延長押しボタン）	1箇所												○			—	—	—	—	—
交差点：4 【西友西側】		青信号延長（押しボタン）の設置	● 高齢者等感応化機能の整備（青時間延長押しボタン）	1箇所												○			—	—	—	—	—
交差点：5 【JR 郡山駅東側】		青信号延長（押しボタン）の設置	● 高齢者等感応化機能の整備（青時間延長押しボタン）	1箇所												○			—	—	—	—	—
交差点：6 【社会福祉会館前】		安全な横断対策の実施	○ 安全な横断対策の実施（（都）城廻り線整備に伴う、城廻り線の安全な横断対策の実施）	—												○			—	—	—	—	—
交差点：7 【城ホール北側】		■ 横断歩道に信号設置の要望。	安全な横断対策の実施	○ 安全な横断対策の実施（（都）城廻り線整備に伴う、城廻り線の安全な横断対策の実施）	—													※)					
交差点：8 【近鉄郡山駅周辺】		■ 自動車、歩行者、自転車等が交錯し、横断するのが危険。	安全な横断対策の実施	○ 安全な横断対策の実施（近鉄郡山駅周辺の整備状況にあわせて安全な横断方策を実施）	—											○			—	—	—	—	—
交差点：9 【城ホール西横断歩道】		■ 横断歩道に信号設置の要望。	信号の設置	○ 信号の設置	—													※)					
交差点：10 【箱本館西横断歩道】		■ 箱本館東側の横断歩道に信号設置の要望。	信号の設置	○ 信号の設置	—													※)					
交差点：11 【JR郡山駅西横断歩道】	■ JR 西側りそな銀行前の横断歩道に信号設置の要望。	信号の設置	○ 信号の設置	—													※)						

※) 現在、信号機が設置されていない。信号機の設置については道路形状、交通量、交通事故発生件数等総合的に判断する必要がある。

■ 建築物特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他 事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）							事業主体		実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無						
						23	24	25	26	27	28	～	施設 管理者	その他 事業者			概略平面 図等	その他 関連図	必要な資金額およ びその調達方法	意見 その他			
大和郡山市役所	大和郡山 市	<ul style="list-style-type: none"> ■ 玄関前の視覚障害者誘導用ブロックが適切ではなく、一人では移動できない。 ■ 警告用の看板が障害物になっている。 ■ 玄関から歩道までの経路が、歩行者と自動車が交錯し危険。 	移動円滑化された経路	●歩道から出入り口まで移動円滑化された経路を確保	1																		
				施設の改善	●エレベーターの改善 （点字表示の設置、音声案内の導入、手すりや呼び出しボタン等の改善等）	1																	
		●エレベーターの改修 （リニューアル時にバリアフリーに配慮したエレベーターの大幅改善）	1																			12,960,000 （市単独）	
		●多機能トイレに多目的シートを設置	1																				
		<ul style="list-style-type: none"> ■ トイレに多目的シートを設置してほしい。 ■ 一般トイレに洋式を増やしてほしい。 ■ トイレに音声案内や点字表示をつけてほしい。 		●洋式トイレの増設	12																		
				●トイレの改善 （点字表示の設置、音声案内の導入等）																			
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 音声案内（視覚障害者誘導システム等）や文字情報（聴覚障害者情報受信装置等）を導入してほしい。 ■ 視覚障害者誘導用ブロックが適切に設置されていないところがある。 ■ 障害者（視覚・聴覚・知的等）に配慮した案内をしてほしい。 	案内情報のわかりやすさ	○歩道から出入り口まで連続した適切な視覚障害者誘導用ブロックを設置																			
				○施設内の視覚障害者誘導用ブロックの改善・新設																			
				○視覚障害者や聴覚障害者に配慮したシステム導入に向けた検討																			
				○緊急時もふまえたわかりやすい情報提供の方策について継続的に検討																			

■ 建築物特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他 事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）							事業主体		実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無				
						23	24	25	26	27	28	～	施設 管理者	その他 事業者			概略平面 図等	その他 関連図	必要な資金額およ びその調達方法	意見 その他	
大和郡山市 社会福祉会館	大和郡山 市	<ul style="list-style-type: none"> ■ エレベーターに音声案内や点字表示をつけてほしい。 ■ エレベーターかご内の奥行がせまい。 ■ エレベーターが非常停止した際に、聴覚障害者に配慮した非常ボタンを設置してほしい。 	施設の改善	●エレベーターの改善（点字表示の設置）											※②	—	—	—	—		
				●エレベーターの改善（音声案内の導入等）												※②	—	—	—	—	
				●エレベーターの改修（施設の建替え時にバリアフリーに配慮したエレベーターの大幅改善）													※②	—	—	—	—
		<ul style="list-style-type: none"> ■ トイレに多目的シートを設置してほしい。 ■ 車いす用トイレを使いやすくしてほしい。 ■ 多目的トイレの照明を自動で点灯するようにしてほしい。 ■ 一般トイレに洋式を増やしてほしい。 	施設の改善	●多機能トイレに多目的シートを設置												※①	—	—	—	—	
				●多機能トイレの便座の改善														—	—	—	—
				●多機能トイレの照明の自動化														—	—	—	—
				●洋式トイレの増設														—	—	—	—
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 視覚障害者誘導システムや聴覚障害者情報受信装置等を導入してほしい。 ■ 視覚障害者誘導用ブロックが適切に設置されていないところがある。 ■ 障害者（視覚・聴覚・知的等）に配慮した案内をしてほしい。 	案内情報のわかりやすさ	○施設内の視覚障害者誘導用ブロックの改善・新設													—	—	—	—	
				○視覚障害者や聴覚障害者に配慮したシステム導入に向けた検討														—	—	—	—
				○緊急時もふまえたわかりやすい情報提供の方策について継続的に検討														—	—	—	—
<ul style="list-style-type: none"> ■ 施設内の照明が全体的に暗い。 ■ 現在の立地は場所が悪い。駅の近くの利便性の高い場所に移設してほしい。 	その他	○施設内照明の改善（節電対策や利用者の意見をふまえて、適切な照度を確保）													—	—	—	—			
		○まちづくりの動向をふまえ、利便性の高い場所への移設の検討														—	—	—	—		

※① 多目的シート設置スペースがないため別の場所に設置

※② エレベーター入れ替えは行うが既存サイズのままであるため、現状よりも広いエレベーターへの改善は施設の建替え時に対応。

■ 建築物特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他 事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）								事業主体		実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無									
						23	24	25	26	27	28	～	施設 管理者	その他 事業者	概略平面 図等			その他 関連図	必要な資金額およ びその調達方法	意見 その他							
三の丸駐車場	社会福祉 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出入口近くにあるため、後続車に気を使う。 ■ 利用しようと思ったら、ポールが設置してあった。 ■ エレベーターから遠い。 ■ 事前に係員に車いす利用者であることを伝えると、誘導、交通整理をしてくれた。 ■ 全体的に傾斜しているため一人で移動するとき車いすが流されてこわい。 	施設の改善	● 駐車スペースの検討 (車いす利用者が安全に駐車できる駐車マスの位置と経路を検討)	2台																						
					○ 係員のサービス向上と周知 (身障者用駐車マス利用者への案内・誘導の徹底と、告知すれば介助する旨の周知)												職員には障害者への配慮を徹底すると共にスペースへの案内及び介助を行う。	継続して実施する。									
		<ul style="list-style-type: none"> ■ トイレの案内がわかりにくい。トイレがあることを知らなかった。 ■ 薄暗くて少し怖い。 		○ トイレのわかりやすい案内サインの設置	6箇所											H24年度整備済。	各階エレベーター及びトイレにわかりやすい案内板を設置した。	○									
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 駐車料金支払い機で、機械のトラブルがあっても、音声のみの情報であるので聴覚障害者はわからない。文字情報でも教えてほしい。 	案内情報のわかりやすさ	○ 聴覚障害者等に配慮したわかりやすい駐車料金支払いシステムの検討	2箇所											機器メーカーに文字情報を問い合わせた所、現在は開発されていない。	当面は、職員が駐在している時間帯だけでも筆談で対応する。										
			その他	○ 施設内照明の改善 (節電対策や利用者の意見をふまえて、適切な照度を確保)	15箇所										特に薄暗く感じる1階スロップ照明の12ヶ所(LED)に変更3ヶ所(LED)を増設した。	年次的に各階の照明をLED照明に変更し、節電対策に努める。 照度31ルクス→照度70ルクスに改善された。	○										

■ 建築物特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他 事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）							事業主体		実施 状況	配慮 事項	図面等添付の有無				
						23	24	25	26	27	28	～	施設 管理者	その他 事業者			概略平面 図等	その他関連 図	必要な資金額およ びその調達方法	意見そ の他	
西友大和郡山店	合同会社 西友	<ul style="list-style-type: none"> ■ エレベーターに乗る経の途中に、開閉式のドアがあり、重くて利用できない。 ■ エレベーターに音声案内や点字表示をつけてほしい。 ■ 店内にエレベーターの場所がわかる案内板を設置してほしい。 	移動円滑化された経路	○大規模改築時に店内外からスムーズに利用できるエレベーターの設置を検討									○		大規模改築の時以外難しい。	—	—	—	—		
			施設の改善	●エレベーターの改善 （点字表示の設置、インターフォンの設置）											○		点字表示、インターホン、案内サインについては本部連動済み。	—	—	—	—
			案内情報のわかりやすさ	○エレベーターの案内サインを店舗内に設置											○		H25 年中には可能か。もしくは 26 年と分けて実施。	—	—	—	—
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 西友前に放置自転車が多数。 	その他	○放置自転車対策の継続実施 （大和郡山市や警察と協力して、来店者に自転車マナー上を啓発）											○	○	店舗、駐輪機会社の担当で対策中。警察の盗難車対策も実施。来店者のモラル向上が最大のポイント。	—	—	—	—

■ 都市公園特定事業等

赤字：短期実施等、具体化事業

対象施設	事業者名	現状課題	整備方針（整備項目）	事業内容 （●：特定事業、○：その他 事業又はソフト事業）	延長・ 箇所数	事業の実施計画（年度）							事業主体		実施 状況	配慮事項	図面等添付の有無			
						23	24	25	26	27	28	～	公園 管理者	その他 事業者			概略平面 図等	その他関連 図	必要な資金額およ びその調達方法	意見そ の他
城跡公園	大和郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出入り口のスロープの縦断勾配がきつい。 ■ 公園内のスロープの縦断勾配がきつい。 	・移動円滑化した施設	○バリアフリーに配慮した情報提供 (車いす・ベビーカー利用者視覚障害者、聴覚障害者等が城跡公園を利用する際の利用ルートや注意事項、トイレ等の施設状況について情報提供)									市		・郡山城跡公園基本計画と連携する。	—	—	—	—	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ トイレから公園の動線上に段差あり。 	・移動円滑化した経路	●公園内のトイレの整備 (公園利用者の動線や利用状況をふまえ、障害者、乳幼児連れ等に配慮した多機能トイレの改善・整備)										市		・同上	—	—	—	—
三の丸緑地	大和郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ■ 出入り口が階段であり、またスロープの縦断勾配がきいので出入りがしにくい。 ■ 出入り口の車止めの幅が狭い。 	・移動円滑化した施設	○歴史に配慮した公園内のバリアフリー化の推進 (郡山城跡の歴史・文化や周辺景観との調和に配慮しつつ、都市公園移動等円滑化基準等に準じた公園のバリアフリー化を「郡山城跡公園基計画見直し業務」と連携しながら推進)									市		・同上	—	—	—	—	
外堀緑地	大和郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ■ 北門にバイク等の進入防止の車止めがあり、車いすが通りにくい。しかし、撤去するとバイクの進入が危惧される。 ■ 橋の横に車いすやベビーカーが通りやすい通路を設けてはどうか。 ■ 夜間の照明が暗い。 	・施設の改善 ・移動円滑化した経路	●移動円滑化された経路の確保 (生活関連経路の一部として移動円滑化された経路を確保するため、車いすやベビーカーでも移動しやすい舗装へ改善、縦断勾配のきつい箇所の改善、視覚障害者や聴覚障害者に配慮した案内誘導方策、夜間の照明等について検討し、随時整備していく。なお、これらの検討にあたっては歴史・文化や景観にも配慮する)									市			—	—	—	—	

■ ソフト施策

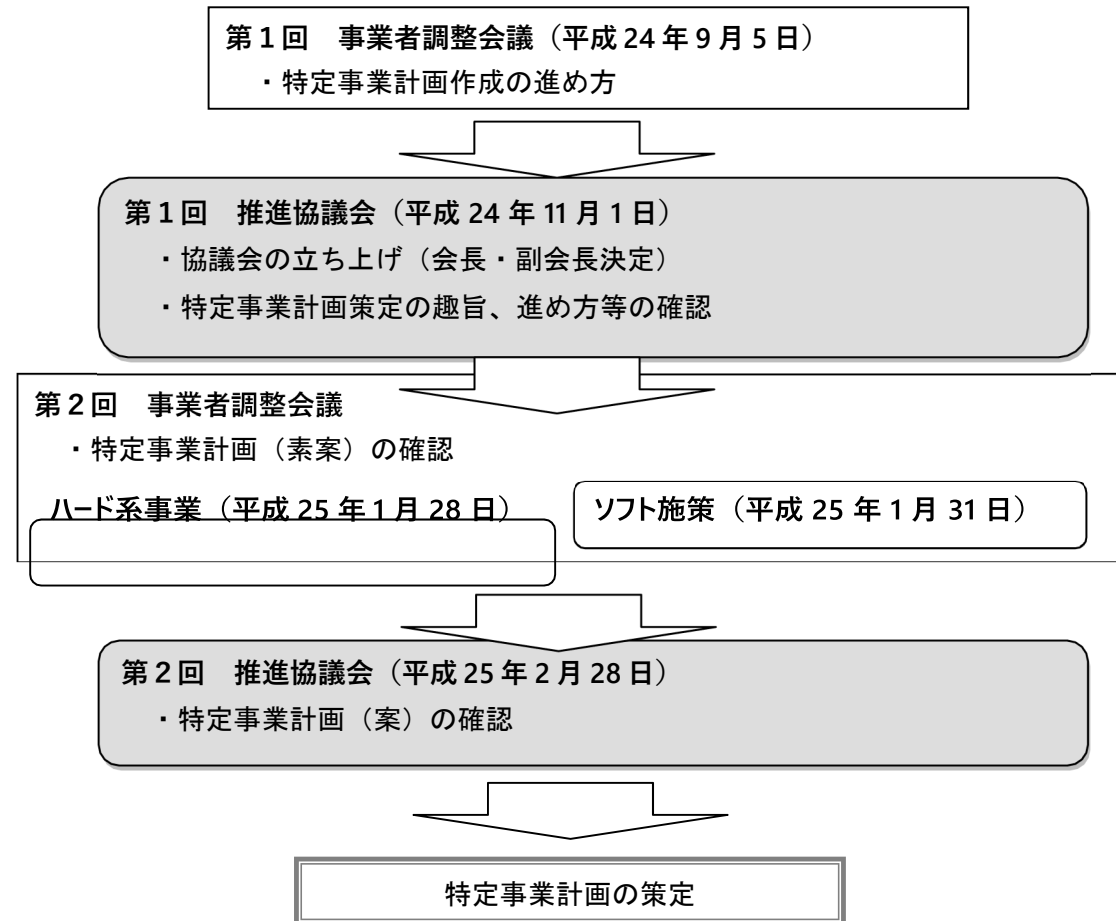
取組内容	取組方針	取組内容	事業の実施計画（年度）						事業主体		実施状況	配慮事項					
			23	24	25	26	27	28	～	県			市				
わかりやすい案内の充実	だれにでもわかりやすい案内表示（サイン）の設置	■ 本地区には城跡公園等が立地し来訪者が多いこともふまえ、障害者等だけでなく、初めて訪れた来訪者を含め、周辺の景観にも調和しだれにでもわかりやすい案内表示（サイン）の設置								道路・交通環境課	都市計画課 その他部署	観光マップをベースにした来訪者にわかりやすいサインの整備を実施。 平成 24 年度は、近鉄郡山駅からバスターミナルまでの案内・誘導方法について検討。	これから設置していくサインについての仕様を定める必要がある。 また、カラーユニバーサルデザインの検討も必要。（特に色覚異常者への配慮）				
	介助・接遇マニュアルの作成	■ 公共施設や観光施設の案内員等の介助・接遇スキルの向上をめざしたマニュアルの作成・配布								—	地域振興課 介護福祉課	平成 24 年度は、マニュアルの素案を作成。次年度以降、見直し、更新を行う。	状況に応じて、障害者等にヒアリング等を行い、必要な情報を盛り込む。				
	来訪障害者等への移動支援のしくみづくりの検討	■ 来訪障害者等への移動支援の先進事例の調査・研究と本市への導入可能性の検討								—	地域振興課 厚生福祉課	移動支援の制度は住民登録地による各々の自治体による制度であるため、来訪地における制度利用は不可能。 制度以外の事例について、平成 24 年度事例収集。民間、NPO、まちづくり、商工業活性化等の動向をふまえた検討が必要。	不可能ではあるが、来訪者及び住民登録自治体より依頼があれば、利用促進のため、事業者紹介可能。				
	障害者に配慮した案内・情報システムの導入検討	■ 障害者に配慮した案内・情報システムの開発・研究動向をふまえたシステム導入の可能性の検討								道路・交通環境課	企画政策課	情報発信の方策として市ホームページにおいて、作成等の作業をマニュアル化し、アクセシビリティ向上を図っている。これにより音声読みあげソフトに対応するような文書作成を徹底する。	機種依存文字は使用しない等の音声読みあげソフトに対応するよう配慮する。 新たな案内・情報システムの導入時には障害者の利便性も考慮した検討を行う。				
バリアフリー情報の提供	バリアフリーマップの作成・配布	■ 主に障害者が移動する際に参考となる経路や施設等のバリアフリー状況とりまとめたマップの作成・配布								地域福祉課 障害福祉課 道路・交通環境課	都市計画課	平成 24 年度事例収集。次年度以降より、バリアフリーマップ作成に向けた企画を検討。	障害者等にヒアリング等を行い、必要な情報を盛り込むが、観光情報との連携が必要。				
	バリアフリーの取り組みに関する情報提供	■ バリアフリー化事業や関連する取り組みに関する進捗状況やスケジュール等の情報を開示								道路・交通環境	都市計画課	市の HP に情報を継続的に掲載。	市の広報誌「つながり」や、視覚障害者への情報発信を検討していく。				
広報・啓発	広報・啓発活動の推進	■ 人権意識の高揚を図り、バリアフリーに対する理を深めるための各種取り組みを実施								人権施策課	人権施策推進課	人と人が互いに支え合うことのできる「人権のまちづくり」の確立に向け、人権のまちづくり協議会、人権教育推進協議会、人権教育研究会、人権問題啓発活動推進本部が連携し年間を通じて人権教育、啓発に係わる各種事業を展開。	身体障害者等、社会的に不利な立場にある少数派（マイノリティ）に対する理解を深めるよう多数派（マジョリティ）にソフト面でねばり強く働きかける。				
迷惑自転車対策	自転車のマナー向上を図る啓発活動	■ 小学生等を対象にした自転車マナー向上の取り組みを実施 ■ 警察等と連携し、駐輪や自転車走行マナーの向上を図るための啓発活動を実施								安全・安心まちづくり推進課	市民安全課	<table border="1"> <tr> <th>県における実施状況</th> <th>市における実施状況</th> </tr> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 春・秋の交通安全県民運動及び夏・年末年始の交通事故防止運動の推進。 県 HP、メールマガジンでの情報発信。 自転車の安全利用に関するビデオ・DVDの貸出。 交通安全サポート事業所における顧客・従業員への啓発。 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 保育園・小学校・中学校・高校及び一般の人を対象に実施している交通安全教室の中で「正しい自転車の乗り方」を実施。 春と秋の交通安全運動期間中に駅や大型商業施設において啓発活動を実施。 放置自転車対策の継続的な推進。 </td> </tr> </table>	県における実施状況	市における実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 春・秋の交通安全県民運動及び夏・年末年始の交通事故防止運動の推進。 県 HP、メールマガジンでの情報発信。 自転車の安全利用に関するビデオ・DVDの貸出。 交通安全サポート事業所における顧客・従業員への啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・小学校・中学校・高校及び一般の人を対象に実施している交通安全教室の中で「正しい自転車の乗り方」を実施。 春と秋の交通安全運動期間中に駅や大型商業施設において啓発活動を実施。 放置自転車対策の継続的な推進。 	市民意識の向上が大前提であり、地道な啓発活動が必要である。
県における実施状況	市における実施状況																
<ul style="list-style-type: none"> 春・秋の交通安全県民運動及び夏・年末年始の交通事故防止運動の推進。 県 HP、メールマガジンでの情報発信。 自転車の安全利用に関するビデオ・DVDの貸出。 交通安全サポート事業所における顧客・従業員への啓発。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園・小学校・中学校・高校及び一般の人を対象に実施している交通安全教室の中で「正しい自転車の乗り方」を実施。 春と秋の交通安全運動期間中に駅や大型商業施設において啓発活動を実施。 放置自転車対策の継続的な推進。 																
駐車場の利用マナーの向上	身障者用駐車マスの利用マナー向上を図る啓発活動	■ 各施設管理者等と連携し、身障者用駐車マスの利用マナーの向上を図るための啓発活動を実施								地域福祉課	厚生福祉課	パーキングパーミット等、様々な視点から調査研究を行っているところではあるが、問題点も多く、調査研究を継続中。	市民意識の向上が大前提であり、地道な啓発活動が必要である。				

■ ソフト施策

取組内容	取組方針	取組内容	事業の実施計画（年度）						事業主体			実施状況	配慮事項	
			23	24	25	26	27	28	～	県	市			交通事業者
教育	学校におけるバリアフリー教育の実施	■ 学校において、バリアフリー教室の開催や、バリアフリー観地点検等の取り組みを実施								学校教育課	学校教育課	—	現在、小中学校では総合的な学習の時間等において福祉体験学習を通してバリアフリー教育を実施している。	今後は積極的に福祉施設や盲ろう学校を訪問する等、障害を持っている方々との交流を深める。
	市職員のバリアフリー教育訓練研修の充実	■ 市職員を対象としたバリアフリーに関する研修実施や手話のできる職員の配置								—	秘書人事課	—	バリアフリーに関する研修は平成 24 年度中に 4 回実施。手話研修については毎年実施。	平成 25 年度以降もバリアフリーに関する研修を適宜実施。
	社員のバリアフリー教育訓練研修の充実	■ 社員を対象とした介助・接客スキルの向上やバリアフリーに関する研修を継続実施								—	—	JR、近鉄、奈良交通	JR) 介助技術員指導者を中心に「バリアフリーマニュアル」に沿って集合研修や勉強会を実施。近鉄) 駅係員について、年間訓練の中でバリアフリーに関する訓練を実施。駅係員の「サービス介助士」資格の取得を推進。奈良交通) 乗務員教育として、年 1 回、奈良運輸支局にてイベント開催時にあわせて研修を行っており、身体障害者だけでなく、精神障害者等への対応。	
	事業者向けバリアフリー教育訓練研修の実施	■ 障害者への接遇・介助水準の向上のための研修を実施								道路・交通環境課	都市計画課	—	既存の研修の活用等を検討(例:「交通事業者向けバリアフリー教育訓練研修」交通エコロジーモビリティ財団)	
当事者の意見を反映するしくみ	バリアフリー整備の推進に当事者の意見を反映するしくみの構築	■ 基本構想策定後の事業実施計画の検討において、具体的な計画内容を検討する際に、当事者の意見を反映するしくみを構築								地域福祉課 障害福祉課 道路・交通環境課	都市計画課	—	平成 24 年度にしくみ構築に向けた検討を実施。5 年程度をめどに試行的に実施することを検討。	障害者等の方の理解と協力が必要。

■ 参考資料: 検討経緯

大和郡山市では、各特定事業間の整合性を確保し効果的かつ一体的なバリアフリー化の実現を図るため、「バリアフリー事業者調整会議」を通じて各事業者と協議・調整のうえ、学識経験者・市民代表・関係事業者等から構成される「大和郡山市移動等円滑化推進協議会」を通じて特定事業計画を策定した。



■ 参考資料: 委員名簿

大和郡山市移動等円滑化推進協議会委員名簿 (平成24年度)

区分	所属及び役職名	氏名
学識経験者	立命館大学 名誉教授 特別任用教授(会長)	はるな まもる 春名 攻
	近畿大学 講師(副会長)	やなぎはら たかお 柳原 崇男
	兵庫県立大学防災教育センター 准教授	ばんば みちこ 馬場 美智子
高齢者団体	高友クラブ連合会 会長	たかみ ちかあき 高見 親昭
障がい者団体	社会福祉協議会 会長代行	ふじもと けんじ 藤本 賢司
	地域自立支援協議会 会長(就労部会)	かきもと かずし 柿本 一志
	地域自立支援協議会(教育部会)	つじもと ひでお 辻本 英夫
自治会	地域自立支援協議会(暮らし部会)	たかはし けんじ 高橋 謙司
	自治連合会会長 及び 郡山第5地区自治連合会	うえむら としひろ 植村 俊博
	郡山第1地区自治連合会	すえなみ やすひろ 末浪 安洋
自治会	郡山第2地区自治連合会	おくもと あきひろ 奥本 明弘
	郡山第3地区自治連合会	ほしの とおこ 星野 十五
	郡山第4地区自治連合会	ほんだ しょういち 本田 勝一
	郡山第6地区自治連合会	おかだ たかお 岡田 孝尚
商工関係	郡山柳町商店街協同組合 理事長	たまい やすみち 玉井 康道
交通事業者	近畿日本鉄道(株)大阪運輸統括部 施設部工務課長	ひらばやし ひであき 平林 英明
	西日本旅客鉄道(株)近畿統括本部 企画課 担当課長	あらかき おさむ 荒木 治
	奈良交通 乗合バス事業部 運行課長	やまもと あつろう 山本 敦郎
公安委員会	奈良県警察本部 交通規制課長	あだち かつひこ 安達 勝彦
	郡山警察署 交通課長	かい かずほ 甲斐 一穂
関係行政機関	国土交通省 奈良運輸支局 首席運輸企画専門官	ふじもと かずゆき 藤本 和往
	国土交通省 奈良国道事務所 交通対策課長	か こ つねひろ 加古 常洋
	奈良県 土木部 道路・交通環境課長	ほりうち ひでのり 堀内 秀格
	奈良県 まちづくり推進局 地域デザイン推進課長	なかお あきひと 中尾 晃史
	奈良県 まちづくり推進局 建築課長	なら もりお 奈良 守雄
	奈良県 健康福祉部 地域福祉課長	はやし のりお 林 法夫
市職員	奈良県 郡山土木事務所 所長	うえひら もりお 上平 盛王
	総務部長	もり やすよし 森 康好
	福祉健康づくり部長	やまだ やすし 山田 弥壽次
	産業振興部長	みづもと ひろたけ 水本 裕丈
	教育部長	にしお たくや 西尾 卓哉
事務局	都市建設部長	よしだ まさよし 吉田 昌義
	都市計画課長	なか のりよし 仲 敬可
委託業者	(株)建設技術研究所	